

RICOH

活用
事例

演劇集団

キャラメルボックス ~~X~~ リコー

感動をパッケージングした「プレミアムフォトシート」



創立25周年を記念した、かつてない試みで、「バリアブル印刷」の大きな可能性を証明。

観劇した日付や座席番号、名前までも印刷した世界で1枚だけのプレミアムなフォトシートを制作！「これまでにないファンサービス」と、大きな話題に。

RICOH Pro C901/C901s



この冊子はRICOH Pro C901で印刷しています。

演劇集団キャラメルボックス×リコー

感動をパッケージングした プレミアムフォトシート

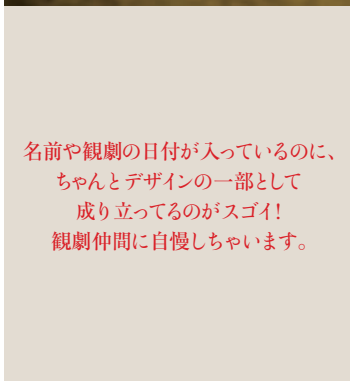
取材・西村希美 撮影・大沼洋平



ダブルキャストが揃った
写真が嬉しい!
座席番号や名前が
入っているから、
気持ちもアガります!



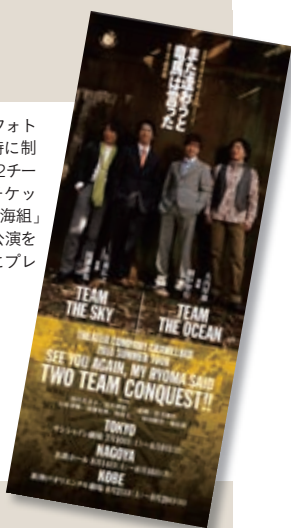
このフォトシートが欲しくて
2公演観ることにしたんです。
期待していた以上にカッコイイので
家に飾っておきたいな〜。



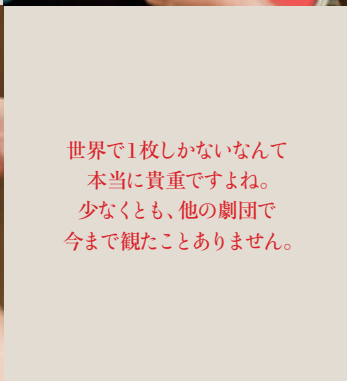
名前や観劇の日付が入っているのに、
ちゃんとデザインの一部として
成り立ってるのがスゴイ!
観劇仲間に自慢しちゃいます。



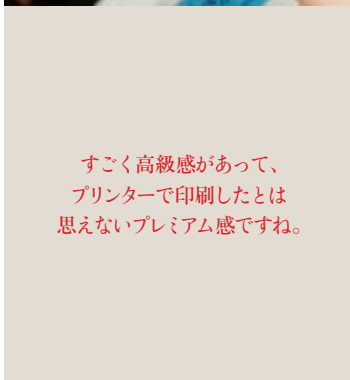
「プレミアムフォトシート」と同時に制作されたのが「2チーム観劇記念チケット」。こちら「海組」/「空組」両公演を見た人だけにプレゼントされた。



世界で1枚しかないなんて
本当に貴重ですね。
少なくとも、他の劇団で
今まで観たことありません。



日付や座席番号は手書きかな?
って予想していたのに、
見事に裏切られました(笑)



すごく高級感があって、
プリンターで印刷したとは思えないプレミアム感ですね。



質の高い演劇で公演毎に観劇通をうならせる「演劇集団キャラメルボックス」。演劇界の中でもとくに観客とのつながりを大切にしていることで知られ、劇団に関わるグッズやメディア展開ではこれまでも多くのバリエーションを見せてきた。そのキャラメルボックスが創立25周年を迎え、記念公演として上演されたのが『また逢おうと竜馬は言った』。ダブルキャストによる公演に合わせ、「これまでにないファンサービスになるグッズを」と企画されたのが「プレミアムフォトシート」のバリエーション。このユニークな試みの全貌を紹介しよう。

お客様に心から喜んでもらえる、
記念になるグッズは何か

演劇集団キャラメルボックス作品の中でも高い人気を持つ『また逢おうと竜馬は言った』。今回の公演は「海組」と「空組」によるダブルキャストということもあって、キャラメルボックスファンの間でも大きな話題となった。演じる人が違えば同じ日本でも違う演じ方、見え方がある。当然、ファンとしてはどちらか一方の組だけでなく、両方の組の公演を観てみたい。「せっかくだから2公演観ていただけるなら、その感謝を形に表したい」というのが、今回の企画のスタート地点だ。そこでリコーが提案したのが2公演のチケットをもつお客様を対象にしたバリエーション。観劇した日付や座席番号、名前などを特別にデザインされたフォトシートを印刷し、会場で配布すれば、ファンにとって忘れられない記念になるはず。そして提案されたキャラメルボックス側も、「これまでにない新しい企画」とすぐに準備がスタートした。「4度目の再演、主役がダブルキャストであることと、劇団創立25周年ということもあり、今までのグッズにないアニバーサリー性を持たせたものを作りたい」と思っていました。バリエーション印刷というのは提案されて初めて知ったのですが、こういう形でお客様にサービスできるのは面白いですね。今回、バリエーション印刷のプレミアムフォトシートだけでなく、事前登録なしでも2公演観ていただいたお客様にお渡しする『2チーム観劇記念チケット』も作ってもらい、長く手元に残してい

登録用Webサイト

『「海組」と「空組」による2公演をご覧頂いたお客様への特別プレゼント』と題して告知されたWebサイト。ここで名前や観劇日、座席シート、プレミアムフォトシートのデザインを選び、エントリーが行われた。



●プレミアムフォトシートA



●プレミアムフォトシートB



配布された「プレミアムフォトシート」は2種類。写真が選べるという点も、バリアブル印刷ならではのメリットだ。



「海組」の公演前にプレミアムフォトシートを手渡していたのは、なんと「空組」の竜馬役・岡田達也さん(左)と岡本役・左東広之さん(右)。お二人とも「自分たちの写真が大きく出ているのはちょっと恥ずかしい(笑)けど、お客様に喜んでいただければ(笑)けど、お客様に喜んでいただければ(笑)けど、このような企画も面白いですね」とのこと。ファンにとってはプレミアムフォトシートと合わせて、思い出に残る日になっただろう。

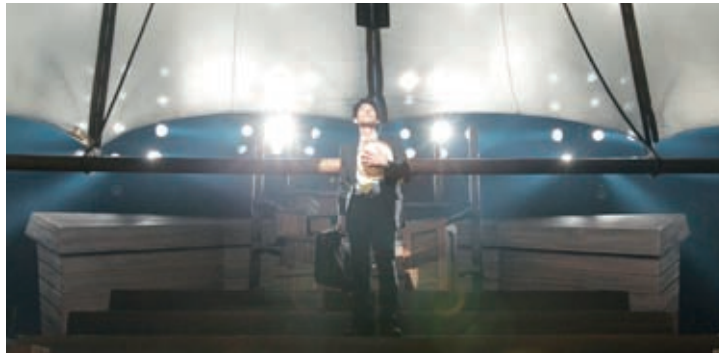


せっかくデザインが選べるなら、と母と二人で別々のフォトシートをWebで注文しました。

いつもグッズが面白いので期待していたんですが……。これは本当に嬉しい！さすがキャラメルボックスですね。ファン心が分かってる(笑)



演劇集団キャラメルボックス創立25周年第3弾〈サマーツアー〉 『また逢おうと竜馬は言った』



【ストーリー】

乗り物に弱いダメなツアコンの岡本。彼は坂本竜馬のような男になりたいと願っている。しかし、何をやっても失敗ばかり。今日も、彼のせいで同僚とその妻が大喧嘩。岡本は、なんとか二人の仲を元通りにしようとする。空想の竜馬に励まされたり、罵倒されたりしながら、が、ある事件に巻き込まれ、事態は意外な方向へと展開していく……。

【演劇集団キャラメルボックス】

1985年6月30日、早稲田大学内の演劇サークル「てあとろ50」出身者を中心に社会人劇団としてスタート。小劇場を中心に活動を開始。以後、順調に動員数を伸ばし、現在は東京、名古屋、大阪、神戸を中心に年間5~6作品を1公演1~2ヶ月のペースで公演を行う。今後、2010年は9~10月『シラノ・ド・ベルジュラック』、10~12月『サンタクロースが歌ってくれた』を上演予定。

写真提供：演劇集団キャラメルボックス／撮影：伊東和則

キャラメルファンの心を掴んだプレミアムフォトシート。制作の舞台裏は次ページをチェック!

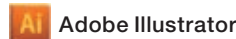


ただける記念品が出来上がったのではないかと思います(演劇集団キャラメルボックス プロモーション・ディヴィジョン チーフ 小森和博さん)

ファンの期待を超えたプレミアムフォトシートが完成!

作成されたのは、バリアブル印刷で仕上げた「プレミアムフォトシート」と、通常のオンデマンド印刷による「2チーム観劇記念チケット」。プレミアムフォトシートは2パターンのデザインが用意され、エントリー時に選べるようにとアイデアが盛り込まれた。申込数は、予想した数を上回る580件。これには、小森さんも驚いたそう。そして会場では、受け取った人たちが興味深そうにシートに見入っている姿が。話を伺うと、「キャストの写真がチラシやポスターになくて寂しかったんですが、これは4人勢揃いで嬉しい」「自分の名前がきちんと入っていてビックリ」と、プレミアムフォトシートの仕掛けに驚いた様子だ。他にも「キャラメル」の公演はいつも面白いグッズがあるんですけど……今回のがいちばん」という声も多く聞かれた。

◎こだわりの詰まった「プレミアムフォトシート」大解剖!



マスターとなるデータは2種類。右のAタイプはトラディショナル、左のBはオーガニックとそれぞれ異なる雰囲気的设计を留意。

バリエーション印刷専用ソフト「MVP5」(モリサワ)

バリエーションデータその1
主役キャストのスクールもバリエーションデータ。ファンに嬉しいサービスだ。

2010.08.14.	2010.08.26.
19:00 start	19:00 start
名古屋 名鉄ホール	新神戸オリエンタル劇場
1階24列28番	3階B列66番
空組公演	海組公演

バリエーションデータその2
観劇日付、時間、場所、座席番号はある程度文字数の予測が付くため、上下に罫線を入れても破綻しない。

バリエーションデータその3
名前部分は一人ずつアルファベットの数異なるため、左右一杯にバリエーションテキストボックスを作成した。

「どれだけ「キャラメルファン」の心をつかめるか」が僕の目標でした。

from WATERS/ORGASMO 真館嘉浩さん

今回のデザインでは何より「キャラメルボックスらしさ」を重視しました。まず最初に考えたのが「長く保存したい」と思ってもらえるデザインって何だろう、ということ、思いついたのがトラディショナルな額装。をベースにしたデザインだったんです。プリンターを使うことによるデザインの制約も前向きに捉えて、メイン写真を額に飾るイメージでデザインできれば、きっと長く愛されるプレミアムなフォトシートができると思っていました。だから、サイズも保存性の高い「A4」にこだわったり、書体も色も、落ち着いた印象を残すものをあえて選んでいます。

欲を言えば、もっとバリエーション部分を増やしてフリーレイアウトに近いものもやってみたかった。でもこれは、次のバリエーション印刷のアイデアとして出し惜しみしておきます(笑)。



初体験のバリエーション印刷
そのデザインのポイントは?

7月10日(土)に公演の初日を迎えるにあたって、デザイナー、プリントサプライヤー(リコー)、キャラメルボックスによる具体的な打合せが始まったのが6月。デザインを担当したのは、WATERS/ORGASMOの真館嘉浩さんだ。

「まず、バリエーション印刷で可変するものに対しての注意点を確認しました。たとえば、文字数の変化に対応しつつ破綻しない罫線の位置関係など、事前で考慮すべきポイントがいくつかあったので、これらを反映しながらデザイン

ンに昇華することが大きなテーマになっていきます。もうひとつは、歴史あるキャラメルボックスさんのイメージをできるだけ守りたいということ。ファン歴の長いお客様が大勢いらっしゃるとうかがったので、そのお客様の期待を裏切らず、手元に残してもらえデザインにするにはどうしたら良いかを時間をかけて考えています(真館嘉浩さん)

真館さんにとって初体験となったバリエーション印刷。それについては、「かなり面白い経験だった」と語る。

「バリエーション印刷って概念的なことは分かっていたつもりでしたが、いざデザインに落とし込もうとするとどこま

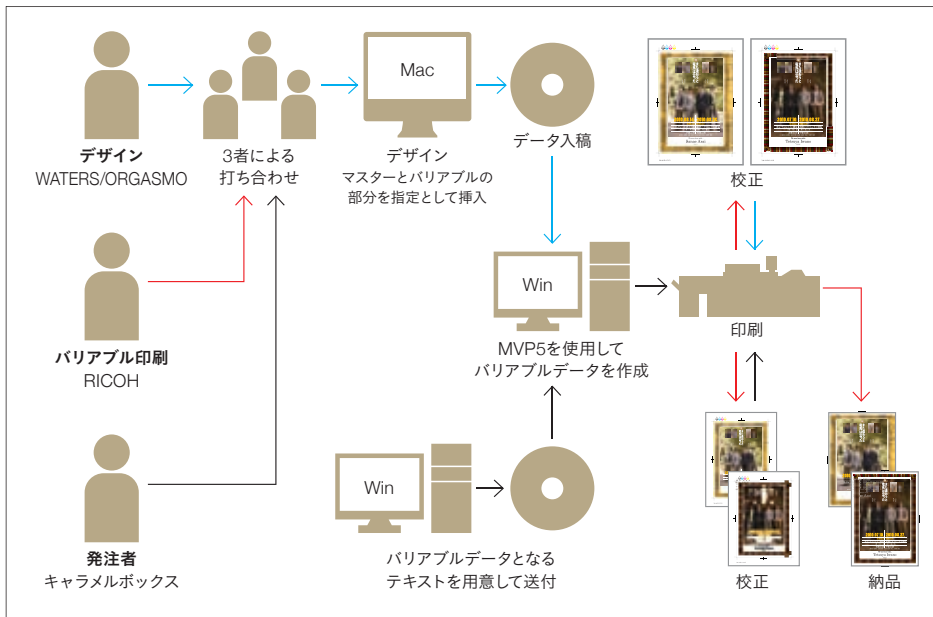
でできるのか、どんなソフトがあつてどんな作業をするのか、そのためにデザイナーが何をすればよいのかまでは知らなかった。だから、今回その点でかなり最初は苦労しました。たとえば「座席表を載せて観劇したシートにチェックマークを入れる」という案があつたのですが、専門的で複雑な前処理が必要になるということで今回は見送ることになりました。結果的に、観劇した日付やシート番号、お客様の名前を印字するシンプルな形に収まったのですが、Macで作ったデザインをWindows上のバリエーション印刷ソフトで仕上げるため、書体や詰めの問題など、デザイナー自身が納得するものを作るにはある程度バリエーション印刷ソフトの基礎知識を持っていた方がいいんだなと痛感しましたね。出来上がったものを見ると、よくここまでデザインを再現してもらえたものだと感じします(真館嘉浩さん)

意外とシンプル?なバリエーション印刷のワークフロー

真館さんが仕上げたデザインデータをモリサワ製のバリエーション印刷ソフト「MVP5」に読み込み、印刷を担当したのがリコー三愛サービス株式会社のPODセンター。リコー関連会社のマニュアルやカタログなど各種印刷を一手に引き受ける会社だ。同社ではオンラインデマンド印刷も多く取り扱っており、経験も豊富。今回も、そのノウハウを活かして「プレミアムフォトシート」と「2チーム観劇記念チケット」が印刷された。

キャラメルボックスでは、「プレミア

◎「プレミアムフォトシート」制作ワークフロー



企画の立ち上げから配布まで約1カ月半というスピード納品が成功した理由は、デザインと印刷それぞれのプロフェッショナルがきっちり役割を果たしたこと。発注者であるキャラメルボックスの負担を極力減らし、また、変数専用ソフト「MVP5」の採用によって自由度の高い変数印刷レイアウトも可能になった。



RICOH Pro C900による印刷の仕上がりをチェックする真舘さん。コート紙を使用したことで、想像以上に高級感のあるフォトシートになった。



さすが毎分90枚の印刷が可能なRICOH Pro C900。A3用紙に面付けされた「2チーム観劇記念チケット」が次々に印刷されていく。



RICOH Pro C900/C900S

毎分90枚の印刷が可能な「RICOH ProC900/C900S」(C900Sはスキャナ搭載モデル)は、プロダクションモデルとして求められる高画質出力と高い安定性・信頼性を実現している。リコーホームページでは、ユーザーの活用事例なども掲載。ユーザーの生の声を知ることができる。

問い合わせ 株式会社リコー/お客様相談センター ☎0120-000-475
<http://www.ricoh.co.jp/pp/pod/>



Printing Innovation Center(東京)

「知る・見る・体感する・試す」をすべて可能にするリコー本社事業所のショールーム。「オンデマンドプリンティングゾーン」では同社のプロダクションモデルを設置し、購入前の相談に応じている(要予約)。
 場所: 東京都中央区銀座8-13-1
 リコービル2F



変数印刷って面白い!

from CARMELBOX
 プロモーション・ディヴィジョンチーフ 小森和博さん

今回、変数印刷にチャレンジして良かったと思うのは、通常は未公開のまま埋もれてしまう写真素材を使って自由に組み合わせられること。それに、来場日時や座席番号からお名前まで、ネットを利用して簡単に申し込みができて、お客様ひとりひとりに公演の記念となるものがお渡しできるのも大きかったですね。

これまでいろいろなグッズやノベルティを作ってきましたが(左下写真)、アイデアはあってもロット数の大小によってあきらめざるを得ないことが多々ありました。変数印刷だと、それを逆手に取って何枚からでも仕上げられる。これも嬉しいポイントのひとつです。

とはいえ、今回のような試みは初めてでどのよう受け入れられるのか開幕前は少し不安だったのですが……。実際ロビーで受け取られたお客様たちが想像以上に喜んでいらっしやる姿を見て、この企画をやって本当に良かったと思いました。



MVP

株式会社モリスワの変数印刷専用レイアウトソフト。全機能を網羅した「Professional Edition」と名刺や宛名印刷機能に限定した「Standard Edition」がある。日本製ならではの縦組み機能やJIS X 4051準拠の組版機能など、海外製品にない特長をもつ。面付け機能にも対応し、プリントオンデマンドビジネスに欠かせない変数印刷に必要な機能を網羅している。

URL: <https://www.morisawa.co.jp/biz/products/main/software/mvp/>
 問い合わせ先: 株式会社モリスワ カスタマーセンター
 TEL: (06)6649-2247(本社) / (03)3267-1234(東京本社)



「デザイン完成から配布まで約2週間。エントリーからデータ納品、印刷、配送という一連の流れを短期間で実現したと思えない仕上がりの良さは、リコーがもっているソリューション力の高さも示しているのではないだろうか。」

「デザイン完成から配布まで約2週間。エントリーからデータ納品、印刷、配送という一連の流れを短期間で実現したと思えない仕上がりの良さは、リコーがもっているソリューション力の高さも示しているのではないだろうか。」

キャラメルボックスが「応援してくれるファンへの恩返し」として企画された「プレミアムフォトシート」は、デザイナーとリコーが密接に打合せを重ねることで、「記憶に残る、変数印刷として完成した。」

「デザイン完成から配布まで約2週間。エントリーからデータ納品、印刷、配送という一連の流れを短期間で実現したと思えない仕上がりの良さは、リコーがもっているソリューション力の高さも示しているのではないだろうか。」

「ムフォトシート」の広報用サイトを立ち上げ、6月22日からエントリーを受付開始。受付期間を2つに分けて2チームの観劇チケットをもってお客様がウェブサイトから申し込みることになっていたので、エントリーが終わる度にPODセンターにデータを入力してMVP5で変数印刷部分を上上げ、オンデマンド印刷機・DPOH0000で印刷が行われた。一方の「2チーム観劇記念チケット」は、当日配布を予定したため6千枚近い数が用意されたようだ。



脚本・演出 成井豊

また逢おうと 竜馬は言った

演劇集団キャラメルボックス 25th ③ サマーツアー



左東広之
空組
岡田達也

大内厚雄
海組
畑中智行



2010.07.10.

2010.08.27.

18:00 start

19:00 start

東京 サンシャイン劇場

新神戸オリエンタル劇場

1階 6列 1番

2階 7列 23番

海組公演

空組公演

岡内美喜子 / 温井摩耶 / 三浦剛 / 筒井俊作 / 石原善暢 / 渡邊安理 / 阿部丈二 / 原田樹里 / 楠見薫

We were here with...

Tetsuya Iwano

THANK YOU



脚本演出 成井豊

また逢おうと 竜馬は言った

清原高広 キャラメルボックス 25th Anniversary



畑中智行
海組
大内厚雄

岡田達也
空組
左東広之



2010.08.14. **2010.08.26.**

18:00 start

19:00 start

名古屋 名鉄ホール

新神戸オリエンタル劇場

1階 24列 28番

3階 B列 26番

空組公演

海組公演

岡内美喜子 / 温井摩耶 / 三浦剛 / 筒井俊作 / 石原善暢 / 渡邊安理 / 阿部丈二 / 原田樹里 / 楠見薫

We were here with...

Sanae Arai

THANK YOU

RICOH

第2世代へ。 プロ、刷新。



「再現力」から、「表現力」へ。フラッグシップは、美しく進化する。

プリント・オンデマンドビジネスの最前線で求められる、スペック、パフォーマンス、バックアップ体制。そのすべてを提供するために生まれた「プロ」のためのマシン、それがRICOH Pro。2008年のデビューから、2年。いま、Proはさらなる進化を遂げた。新カラーP×Ptナー採用で、基本画像・画質安定性がさらに向上。従来機^{*1}に比較して、ベタ画像・ドットに磨きをかけたその美しさは、まさに「再現力」から「表現力」の域へと達した。さらに、新オイルレス定着機構の開発により、厚紙定着性や薄紙コート紙への対応力もアップ。もちろん、連続プリント90ページ/分^{*2}を実現する高い生産性や、出力枚数に関わらず優れた精度を誇る信頼性、ダウンタイムを短縮する安心のメンテナンス性、そして充実のサポート&サービスはそのままに。Proは、次のステージへ。その先のビジネスへ。RICOH Pro C901/C901S、誕生。

そのすべては、最高のパートナーであるために。

RICOH Pro C901/C901s *New*

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

*1 RICOH Pro C900/C900Sとの比較 *2 A4ヨコ通紙 ※写真はRICOH Pro C901Sにオプションを装着したものです。

プロ、体感。

“Printing Innovation Center” [リコー本社ビル2F ショールームスペース]

RICOH Proをはじめ、プロダクション プリンティング ビジネスの新たなソリューションをご覧ください。またDTPセミナーも定期的で開催中。

お問い合わせ：03-6278-5470

※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。

株式会社リコー

〒104-8222 東京都中央区銀座8-13-1